

| 科目名 | 保健体育 | 英語科目名 | Physical Education |
|--|---|------------------|-----------------------|
| 開講年度・学期 | 平成 27 年度・後期 | 対象学科・専攻・学年 | 3 年 全学科 |
| 授業形態 | 実技および講義 | 必修 or 選択 | 必修 |
| 単位数 | 2 | 単位種類 | 履修単位 (30h) |
| 担当教員 | 長田朋樹 | 居室 (もしくは所属) | 講義棟 1F |
| 電話 | 内線 185 | E-mail | t-naqata1094@小山高専ドメイン |
| 授業の到達目標 | 授業到達目標との対応 | | |
| | 小山高専の教育方針 | 学習・教育到達目標(JABEE) | JABEE 基準 |
| 1. 野球の基本技術 (安定したバット操作, ボール操作) を利用し野球のルールやマナーのもとにゲームを行うことができる | ⑥ | | |
| 2. バスケットボールの集団的技能による攻撃と守備のバランスを考慮して実践することができる。 | ⑥ | | |
| 3. 長距離走を通じて基礎体力を向上させることができる。 | ⑥ | | |
| 4. スポーツ科学について知識を増やすことができる。 | ⑥ | | |
| 各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法 | | | |
| 1-2. 練習およびゲームのプレー内容・スキルチェック等から総合的に判断し評価する。 3. 長距離走の記録等により評価する 1-4. 学年末試験およびレポート課題から総合的に判断し評価する。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 1. 実技点 (スキルチェック, ゲーム時のプレー内容, ゲーム記録票またはワークシートの内容) : 25% 2. 定期テスト : 25% 3. 授業態度 (遅刻, 忘れ物, 服装, 授業参加度, 課題レポートなど) : 50% | | | |
| 授業内容 | | | |
| <p>●授業のガイダンスおよび保健【2 週】</p> <p>①運動技能の構造と運動の学び方 ②スポーツ科学 ③オリンピック</p> <p>●野球【6 週】</p> <p>①キャッチボール, ルールの確認 [1 週] ②バット操作, 守備練習 [2 週] ③リーグ戦および審判法 (ゲームは毎時間取り入れる) [3 週] ④スキルチェック</p> <p>●バスケットボール【6 週】</p> <p>①ボール慣らし, パス・ドリブル・レイアップシュートの復習 [1 週] ②オフェンス・ディフェンスの方法 [1 週] ③ゲームの仕方および審判法 (ゲームは毎時間取り入れる) [3 週] ④スキルチェック (3 対 3) [1 週] ※バスケットボール最終日に行う</p> <p>●長距離【各週】</p> <p>①1000m 走</p> | | | |
| ※以上の授業内容は, 天候や進捗状況等により一部変更することがある | | | |
| キーワード | バスケットボール, 野球, パフォーマンス向上, コミュニケーションスキル, スポーツ科学 | | |
| | 特になし | | |
| 参考書 | 特になし (※保健授業においては教材を教員が用意する) | | |
| カリキュラム中の位置づけ | | | |
| 前年度までの関連科目 | 保健体育 | | |
| 現学年の関連科目 | 保健体育 | | |
| 次年度以降の関連科目 | 保健体育 | | |
| 連絡事項 | | | |
| ○保健体育は出席することが前提条件である (オリエンテーションで説明する保健体育の規定欠課数を超える者については評価の対象にしない) | | | |
| 1. 実技中心であるが, 最初の授業および雨天時等に保健に関する講義を行うことがある。 2. 授業では, 学校指定のジャージ, T シャツ, 短パンおよび運動靴を必ず着用すること。それ以外は一切認めない。 3. 授業時の無駄な私語, 身勝手な行動, 途中退出および非協力的態度などをとる学生に対しては単位を与えない。 4. 週番は, 授業前までに連絡事項を教員室まで聞きに来ること。また, クラスへの伝達, 出席簿の持参, 用具等の準備をする。 | | | |
| シラバス作成年月日 | 平成 27 年 2 月 19 日 | | |